



第18回 子ども議会

7月24日、町役場議場で『子ども議会』が開催されました。町内の小学校から6年生21人が集まり、町政に対する質問を投げかけました。

子ども議会は、子どもたちに民主主義の基本である議会制度のしくみを体験してもらうこと、子どもたちの視点から見た様々な問題を、まちづくりに反映させることなどを目的に毎年行われています。

自分の順番が来るまで緊張していた子どもたちも、壇上^{だんじょう}に立つと、はっきりとした声で堂々と質問を行い、原稿を見ないで発表する場面も多く見られました。

ここでは、子ども議員からの質問と、その答えを要約してご紹介いたします。

議長インタビュー



議長 泉野小学校
うのさわしゆん
宇野澤 諄くん

子ども議会において議長を務めた、泉野小学校の宇野澤諄くん。議会中は、きりっとした表情で、立派に議事を進行していました。その宇野澤くんに今回の感想を聞きました。

「とても緊張したけれど、町議会の堀江議長のサポートで心強く、安心してできました。人の名前の読み方や、発音が難しかったけれど、言葉を間違えないようにゆっくりと話すよう心がけました。議長を任せられたときは、驚いたのとほかの友だちのほうがかぶさわしいのではないかという思いで少し不安でしたが、やって良かったと思います。間違えず、無事に終えてほっとしています。楽しかったです。」と、大役を終え、充実したすがすがしい笑顔で話してくれました。



毛呂山小学校
高阪 信平 議員

子ども農園と農園クラブの設立の提案

各小学校に『農園クラブ』を作り、地元の農家の人に作物の作り方を教えてもらいながら、種まきから収穫まで行う農業体験ができる『子ども農園』の設立を提案します。『子ども農園』は何も植えられていない畑を町が借り上げるようお願いします。

答

議員のご提案は、作物の栽培がされていない農地の解消と、生命や自然環境、食物に対する理解を深めることができる素晴らしい事業です。畑や水田は野菜や米の生産ばかりでなく、多様な生き物を生息させ、美しい農村風景をつくりだし、私たちの心を和ませます。現在、川角小学校と泉野小学校では、休んでいる田を借りて、田植え、収穫、調理、試食の体験を授業に取り入れています。毛呂山小学校でも、授業で取り入れていただくようお願いし、作物の栽培がされていない農地を所有する農家に農地提供を呼びかけ、町の大切な農業を守っていききたいと思います。



川角小学校
浅見 咲季 議員

大類への事故防止

登下校で通る大類の十字路には、ガードレールがない場所があります。子どもたちや地域の人が通る歩道は、車と人との間隔が狭く、特に傘をさす雨の日は車にぶつかりやすいです。道もでこぼこして、歩きにくいので、ガードレールがあれば事故が防げるので増やしてください。

答

大類の交差点は県道と町道の交差点で、交通量の多い道路です。町道にはガードレールがなく建てることを検討していますが、道路幅が狭いため難しく困っています。県道については道路幅16メートル道路の計画工事を1日でも早くしていただけるよう、県にお願いしていきます。別の道を通学路として利用するなど工夫していただいています。回り道がない部分については、地元区長さんや学校、警察署と相談していきます。また、道路をパトロールして、でこぼこしたところをできるだけ直していますが、危ない場所に気が付きましたら、先生や保護者に相談して、町に連絡してください。



光山小学校
川下 貴樹 議員

ごみ集積所に工夫を

多くの家の近くのごみ集積所にはネットがありますが、すき間からガラスがごみを荒らすことにより、道が汚れたり臭ったりします。町にたくさんある集積所に、ネットだけでなくガラスが入り込まない工夫をすれば、町がもっときれいになって住みやすくなると思います。

答

ごみ集積所の設置と管理は各自治会にお願いしているため、各地区により集積所の形などが違います。ガラスが入りこみにくい集積所の例として、屋根や扉のかかるため、すぐにできるものではありません。管理方法は各自治会と町と一緒に考えなければなりません。具体的には、錘がついた大きなネットを使用する、折りたたみ式の檻を使うなどいろいろ試していただき、良い方法が見つかりましたら、町までお知らせください。町民の皆さんに情報提供していきます。



泉野小学校
坂下 由起 議員

毛呂山町にもセラピー犬を

新聞で「老人ホームで活躍するセラピー犬」の記事を読み、強く心を打たれました。お年寄りや東日本大震災で悲しい思いをしている人など、毛呂山町の人たちを元気づけ、動物と触れ合えるきっかけをつくれると思うので、セラピー犬を毛呂山町でも育てることを提案します。

答

議員がセラピー犬の新聞記事を読まれ、強く心を打たれたことはとても素晴らしいことだと思います。セラピー犬と接することで、「楽しい」、「落ち着く」、「癒される」といった感情に満たされ、「また犬に会いたい」という前向きな気持ちになることから、セラピー犬の存在意義は大きいと考えます。町でセラピー犬を育成することは難しいと考えていますが、動物との触れ合いにより命の大切さを子どもたちに学んでもらうための活動や、高齢者施設などに取り入れる活動を参考にしながら、検討していきたいと思えます。



議会を傍聴する子どもたち



毛呂山小学校
栗原 博美 議員

ごみ袋に名前を書いて出す

ごみの出し方を守らないで出すと回収されず、分別や集積所の掃除に時間がかかります。ごみ袋に名前を書けば、間違えて出した人に正しい捨て方を教えてあげられます。気軽に捨てられなくなる心配もありますが、分別することでごみを減らすことができ、集積所もきれいになると思います。

答

出し方が間違っているごみには、ルール違反という黄色の紙を張り、間違つて出した人が持ち帰るようにしています。しかし、誰も持ち帰らないときは、各地区の廃棄物減量推進員さんなどが、たいへんな思いをしながら片付けています。議員のご提案は、ごみを出す人に責任を持たせることとして大切だと思います。しかし、普段からマナーを守らない人に名前を書いてもらうことは、難しいことなのかもしれません。町としては町民の皆さんに、ごみの分別収集や減量化の大切さをご理解いただき、出し方、マナーの徹底を図っていきたいと思います。



川角小学校
小室 京介 議員

毛呂山町にランニングコースを

ランニングやウォーキングは体によく、仲間ができれば楽しい時間を過ごせます。持久走大会の練習などで歩道のない道を走りますが、急な後ろから車が来て、特に夜間は走っている人が車からは見えにくく危険です。町にランニングコースがあれば安全で便利だと思います。

答

町内には、大類グラウンドの周りに、スタートからの距離を地面に表示した一周450メートルのコースを設けてあります。また総合公園では、敷地内に一周2キロメートルのウォーキングコースを整備したところがあります。交通事故のない安全なコースですから、ぜひ利用してみてください。ほかに町内には歴史や文化、自然に触れ合いながら歩けるウォーキングコースもあります。ランニングやウォーキングの推進は、心身の健康増進のためにたいへんすばらしいご提案であり、今後も今ある施設を工夫して活用できるよう努めていきます。



光山小学校
柳澤 詩乃 議員

川角駅の前に駐車スペースと看板を

下校時に通る川角駅前は、送り迎えの車が路上に止まっているため、その車をよけて走る車が歩行者に近づき危険です。もう丸く人が路上駐車を注意する絵の看板をたて、車が止められるスペースを作れば、私たち小学生や、駅を利用する中学生、高校生、大学生、一般の人が皆、安全に歩けると思います。

答

川角駅前には送迎の車が道路上に一時停車するだけでなく、改札口と道路や踏切が近く、電車が通過した後は歩行者や車が踏切を一斉に渡り、歩行者と車の距離が近づき、渋滞が発生し、たいへん危険であると思います。議員ご提案の看板は、交通安全を呼びかけるとともに町のPRにもなります。また、駐車スペースの確保についても、車と歩行者を分けられる有効な手段です。地域の人や周辺学校関係者などの意見をお聞きし、駅周辺整備の検討をしていますが、議員のご提案も参考にさせていただきます。



泉野小学校
渡邊 智樹 議員

町営プールを再開して

埼玉県には海がないためプールがあれば良いのですが、町営プールがないため、となりの町まで行かなくてはなりません。安心・安全・サービスの充実した楽しいプールの再開をお願いします。再開が難しいれば、坂戸市や越生町のプールの割引券を毛呂山町で出してほしいです。

答

町営プールの利用者が減り、プールを常に安全な状態に保つには負担が大きく、やむを得ずプールを閉鎖しました。子どもが少なくお年寄りが増えていく時代を迎え、町全体を見通したなかで、限りあるお金の有効な使い方を真剣に考えると、再開は非常に厳しいと思われると思います。割引券については近隣の市や町と体育施設などについて、お互いの住民が安い料金で利用できる協定を結んでいます。坂戸市や日高市の市営プールも対象です。越生町のプールは民営のため、協議が必要ですので検討していきます。



毛呂山小学校
福田 華梨 議員

福祉にやさしい町づくり

車イスやクローバー、蝶などの障害者のためのマークを広報で皆さんに知ってもらいたいです。久喜市では「おもいやり駐車場利用証」を障害のある人やお年寄りや妊婦さんに配っています。町でも、「おもいやり駐車場利用証」を作り、公共施設やスーパー、病院などの駐車場に分かりやすい看板を立てると良いと思います。

答

町では障害福祉ガイドブックを作成し、障害者のためのマークを載せております。これからは町ホームページへ載せるなどして、知っていただけのような努力めるほか、もろ丸くんの車イスパージョンを活用するなど、身近なところから理解を深められるよう努力していきます。障害のある人にとって自動車は大切な移動手段であるので、「おもいやり駐車場利用証」の使用や看板を設けることのご提案はたいへんすばらしく、スーパーや病院などにお願ひしていききたいと思います。



川角小学校
杉田 恵里衣 議員

歩道と自転車の走る道を

歩道は歩く人専用の道だと知り、自転車で遊びに行くときは歩道の外側を自転車で通りますが、狭い道などで車がスピードを出して通りすぎる時は危ない思いをします。坂戸市には歩道の外側に青色の自転車専用道がありました。毛呂山町にも自転車専用道を作ってほしいです。

答

自転車は健康的で地球温暖化防止など環境面での期待もあることから、多くの人が利用しています。坂戸市のような青色の自転車専用の道路は、幅の広い大きな道路に限られます。毛呂山町の場合、道路幅に余裕がある場所が少ないため、自転車専用道路を設けることは難しい状況ですが、今後の課題として十分検討していきます。自転車での通行が危険な箇所については、よく調査をして安全に通行できるように改善していきます。また、埼玉県では県内のサイクリングコースを繋ぎ、自転車を楽しむ取組を進めています。



光山小学校
比留間 紀子 議員

説得力のある看板で町をキレイに

「犬のフンをそのままにしないで!!」という看板をよく見ますが、あまり効果が無いように思います。私が作るとしたら「犬のフンはゴミのポイ捨てと同じ、みんなの未来を考えて!!」という説得力のある看板を作ります。環境の良い自然いっぱいまちづくりの第一歩だと思えます。

答

毛呂山町では約2100頭の犬が登録され、近隣に迷惑がかからないようルールを守って飼っている飼主がほとんどかと思えます。しかし、中にはフンの始末をせず放置する飼主がいるため、役場生活環境課では動物愛護法違反であることをお知らせする看板の設置や、町の広報紙などで注意を促しています。町では環境保全条例を制定しているため、飼犬のフン害については、飼主に対して指導することもできます。看板作りは議員のご意見を参考にし、より説得力のある看板を作成していきます。



泉野小学校
又野 慎吾 議員

泉野小学校前の歩道橋の改修を

登下校で使っている泉野小学校前の歩道橋は、①床がボロボロではがれている、②サビが多い、③階段が滑りやすい、④はがれた床の破片が落ちて車にぶつかる、⑤管がつまり水が流れない、⑥カビやコケがある、以上の不安な6点があるため改修をお願いします。

答

泉野小学校の開校に合わせ昭和55年に造られた「泉野歩道橋」は、跨いでいる県道川越・越生線の車の通行量が多く、登下校に欠かせない施設です。造られてから32年が経過し、修繕をすべき箇所がたくさんあることが改めて分かりました。安全に通行できるように、また、県道を通行する車に危険を及ぼすことのないように、歩道橋を管理している埼玉県飯能県土整備事務所へ修繕をお願いをしました。今後もパトロールなどを行い、飯能県土整備事務所と連絡をとりながら、安全な歩道橋の維持に努めていきます。



議会を傍聴する子どもたち



毛呂山小学校
福田愛 議員

学校にエアコンを

毛呂山町の学校全部にエアコンをつけてほしいです。夏は蒸し風呂のようで、勉強に集中できません。暑いのは毛呂山小だけではないはず。お金がかかるのなら、時間と設定温度を決め、電気代を節約します。エアコンなら冬も暖房が使える、ストゥーブと違い教室全体が暖まります。

答

エアコンには冷房・暖房・除湿機能があり、各小・中学校のコンピュータ室や保健室などには設置しています。議員ご提案の普通教室全部にエアコンを設置することは、猛暑日の暑さによる学習環境の改善や、本町の抱える小・中6校のストゥーブの老朽化対策として有効なものと考えています。町ではエアコンを設置する場合を考え、環境性、省エネ性、経費性などの面について現在調査・検討をしているところです。また課題も多くありますので、今後できるだけ早く研究と工夫を重ね、段階を踏みながら設置していきたいと考えています。



川角小学校
清水果林 議員

川角小学校前交差点に信号を

私は習い事のため、親の車で坂戸市に行きますが、川角小学校前交差点を川角中学校方面から来て右に曲がろうとすると、交通量が多いためなかなか曲がれません。たくさんの人に使われている道路に、信号機が設置されれば、みんなが安全に通行でき、交通事故も減ると思います。

答

現在、埼玉県では旧川角農協前交差点で、鶴ヶ島方面へ行くために右に曲がる車線を増やす工事を進めています。この工事の完成により混雑が減り、川角小学校前交差点の通行がしやすくなるかと思えます。危険な交差点に信号機を設置することは有効な方法ですが、県道の工事が終わってから様子を見たいと思います。信号を設置する場合、近い場所に2か所信号が付くことになるため、県道を管理している県や、交通規制や信号設置を行う公安委員会とよく相談をしながら進めていきます。



光山小学校
塚祥太 議員

町の坂におもしろい名前を

坂のカーブに名前がついた日光のいろは坂に行きました。毛呂山町の坂にもおもしろい名前をつけられれば、観光PRになると 생각합니다。鎌北湖に行くときにも坂があり、面白い名前があれば、ほかの市町村の人に毛呂山町をよく知ってもらえる機会になるかもしれません。

答

鎌北湖へ登る坂自体には名前はありませんが、このあたりは亀石甲という地名があります。名前が付いている坂は一部ですが、鎌北湖の西に海老ヶ坂、川角地区に清後坂というところもあります。阿諏訪地区の小字に「いの字」から「京の字」まで、いろはの48の名前がついているたいへん興味深い地名もあります。地域の歴史や風土からつけられることが多い地名ですが、議員のすばらしい発想力と郷土愛からの提案ですので、観光PRに繋がるよう、ぜひ町でも坂の名称を研究してみたいと思います。



泉野小学校
厚目禄翔 議員

近所に児童館を

泉野小学校学区内から、川角の児童館へは遠く、交通量の多い道を通らなければなりません。学区内に公園はありますが、雨の日は家でテレビゲームや読書など限られた遊びしかできないため、雨の日でも体を動かせるトランプや、遊具のある広い庭の児童館が近くにあるといいなと思います。

答

川角地区にある児童館は、昭和59年に開かれ、利用者は年間9千人を超えています。利用者の多くは、光山・川角小学校の児童の皆さんで、泉野・毛呂山小学校からは遠いため、利用者数が少ない状況です。児童館は児童の皆さんが安全に過ごせる子どもの居場所、地域の遊び場として、大きな役割があるものと考えています。放課後や土曜・日曜などの遊び場づくりを含め、子どもたちのために町はどのようなことをしていけたらいいのか、予算のことも考えながら全体の計画の中で考えていきます。



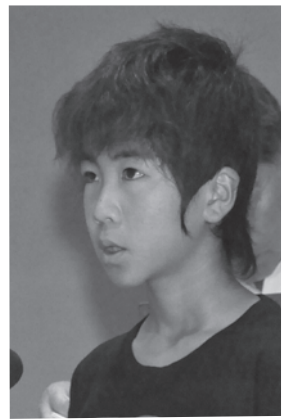
毛呂山小学校
諸星 航稀 議員

バイパスに休める場を

バイパス開通により、交通量が増え、特に大型トラックが多く事故が起きないか心配です。「道の駅」を造れば、長時間運転している人が休めるので、居眠り運転などの事故を防げます。道の駅では特産品のゆずや卵などを販売し、観光の紹介コーナーを設置すれば、毛呂山町を多くの人にPRできると思います。

答

バイパスは、飯能市から、日高市、毛呂山町、越生町を通り寄居町へ至る県道飯能寄居線の交通渋滞などをなくすために埼玉県が造った道路です。広く便利な道ができるとう交通量が増え、事故が増える心配があります。また、通学路となっていることから、県や警察に安全対策をお願いしています。「道の駅」を造るためには、県の協力を得て詳しく調査をし、国に登録が必要ですが、毛呂山町のバイパス沿いに平らで広い土地が少ないため、場所選びが難しい状況ですが、今後十分に検討します。



川角小学校
山元 耀 議員

西大久保の公園に大きいフェンスを

西大久保の公園には高さ1メートルくらいのフェンスがありますが、野球やサッカーなどをすると、公園の前の畑にボールが入ることがあります。畑の野菜が傷んだりして、畑の持ち主に迷惑をかけてしまうことがあります。高いフェンスやネットを公園につけてほしいです。

答

公園は子どもの遊びやお祭りなど地域住民の交流の場であり、時には災害時の避難施設となる重要な場所です。議員が利用している公園は、広場や遊具がある手入れの行き届いた公園で、用地は地元の住民からお借りしています。フェンスを高くするには、土地の所有者や公園を管理している住民皆さんの理解が必要ですので、まずは地元の役員さんに相談してみたいかがでしょうか。地元の皆さんから了解が得られれば、町が工事費用の一部を補助金として交付するなどの支援を行っていきます。



光山小学校
岩崎 優里 議員

もろ丸くんをもっとみんなに

毛呂山町のキャラクターもろ丸くんの鉛筆や消しゴムを作れば、子どもが使えます。幼稚園児にはシールやおもちやなど、高齢の人には湯飲み茶碗やもろ丸くんパッケージの和菓子を作ったらよいと思います。もろ丸くんが好きな人が増え、町に笑顔が増えて明るい町になると思います。

答

もろ丸くんはデビュー以来、大盛況で、ぬいぐるみや携帯ストラップ、クリアファイルなどを作成しPRを行い、イベントや保育園、幼稚園などでも、もろ丸くんと触れ合い活動を行ってきました。議員の提案は、もろ丸くんをおして「笑顔・元気・勇氣」を伝えられるすばらしい提案です。筆記用具やお菓子、食器類にも幅広く製作を進め、もろ丸くんグッズの種類を増やすとともに、活動範囲を広げていくことも研究して、更なる毛呂山の発展に繋げていきます。議員も、もろ丸くんの応援をよろしくお願ひします。



泉野小学校
住吉 和清 議員

ゆずの里クリーンウォーク大作戦

子どもからお年寄りまで参加できる楽しいイベント「ゆずの里ウォーク」に毎年参加していますが、よく見ると山や川にゴミが落ちていきます。自然を満喫できるウォーキングをしながら、参加者にゴミ袋を渡してゴミを拾うイベントにすれば、一石二鳥だと考えました。

答

「ゆずの里ウォーク」は毛呂山町の自然豊かな景観の中を歩き、町内外から毎年2000人前後の参加者がある、町の一大イベントです。ゆずの里ウォークに参加するボーイスカウトや体育協会山岳部の人たちは、山や川に落ちていくゴミを拾いながら歩いていきます。また、別の機会ですが、連合寿会のゴミ拾い事業や、埼玉県による県道のゴミ拾い事業なども実施されています。議員のご提案のように、今後参加者に喜んでもらえるゆずの里ウォークになるよう、工夫をしていきたいと考えています。